

令和7年用ハウストマト病害虫防除基準（ミニトマトは除く）

発行：J A さ が え 西 村 山
さがえ西村山野菜振興協議会

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

害虫防除【殺虫剤】

作業	RAC コード	薬 剤 名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫						注 意 事 項
			倍 率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	アザミ ウマ類	ハモグリ バエ類	アブラ ムシ類	コナジ ラミ類	オオタ バコガ	トマト キバガ	
定植前	1 B	ネマトリンエース粒剤	15～20kg／10a 全面土壌混和		定植前	1 回							●登録：ネコブセンチュウ
定植時	4 A	ベストガード粒剤	2 g／株 植穴処理土壌混和		定植時	1 回		●	●	●			※クロチアニジンを含む（ダントツ）4回以内（育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内） ※ジノテフランを含む（スタークル）5回以内（培土混和及び灌注は合計1回以内、育苗期の株元散布は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内）
	4 A	ダントツ粒剤	2 g／株 植穴処理土壌混和		定植時	1 回	●	●	●	●			
	4 A	スタークル粒剤	1 g／株 植穴土壌混和		定植時	1 回		●	●	●			
生育期	4 A	ダントツ水溶剤	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内		●	●	●			※抵抗性害虫出現防止のため連用を避ける。 （ベストガード、ダントツ、スタークル、モスピラン）
	4 A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	2回以内				●			●登録：カメムシ類
	4 A	モスピラン顆粒水溶剤 [㊞]	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内	●		●	●			
	3 A	アーデント水和剤	1,000倍	150～300 ℓ	前日まで	3回以内	ミカン キイロ ●				●		※【合成ピレスロイド剤】（アーデント、アディオン）抵抗性害虫出現防止のため総使用回数は2回以内とする。
	3 A	アディオン乳剤	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内			●	オンシツ ●			
	9 B	チェス顆粒水和剤	5,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内			●	●			
	29	ウララD F	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内	ミカン キイロ ●		●	●			
	5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	100～300 ℓ	前日まで	2回以内	●	●			●		※スピノサドを含む（スピノエース、ダブルシューター）総使用回数は2回以内
	5	ダブルシューターS E	1,000倍	100～300 ℓ	前日まで		●	●		●	●	●	●登録：ハダニ類 ※オーソサイド水和剤、アミスター20フロアブル、ホライズンドライフフロアブルと混用せず、散布間隔を14日以上あける。
	6	アニキ乳剤	1,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内	ミカン キイロ ●			●		●	
			2,000倍					●			●		●登録：トマトサビダニ、ハスモンヨトウ
	6	コロマイト乳剤	1,500倍	100～300 ℓ	前日まで	2回以内		●		●			●登録：トマトサビダニ
	6	アフーム乳剤	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	5回以内		●		●	●	●	●登録：トマトサビダニ
	13	コテツフロアブル [㊞]	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内	ミカン キイロ ●				●	●	●登録：トマトサビダニ、ナミハダニ
	28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	2回以内					●	●	●登録：ハスモンヨトウ
	28	ブレバソnfフロアブル5	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	3回以内		●			●		※抵抗性害虫出現防止のため連用を避ける。
	30	グレーシア乳剤	2,000倍	100～300 ℓ	前日まで	2回以内	●	●		●	●	●	●登録：トマトサビダニ
	UN	ブレオフロアブル	1,000倍	100～300 ℓ	前日まで	2回以内		●			●	●	●登録：シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ

病害防除【殺菌剤】

作業	RAC コード	薬 剤 名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫						注 意 事 項
			倍 率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	葉かび病	灰色か び病	すすか び病	うどん こ病	疫病	菌核病	
定植前	8 F	バスアミド微粒剤 [㊞]		30kg／10a	は種又は定植 21日前まで	1 回							●登録：半身萎凋病、根腐萎凋病、白絹病、褐色根腐病、青枯病 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
育苗期	M 4	オーソサイド水和剤80	800倍	100～300 ℓ	前日まで	5 回以内	●	●			●		
				2 L／㎡ 灌注	は種後から 2～3葉期まで	5 回以内						●登録：苗立枯病	
	M 7	ベルコートフロアブル	2, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	3 回以内	●	●	●	●			
	M 5	ダコニール1000	1, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	4 回以内	●	●	●	●	●		●登録：斑点病、炭疽病、褐色輪紋病
	3 M 3 UN	テーク水和剤	800倍	100～300 ℓ	前日まで	2 回以内	●			●	●		※【E B I 剤】耐性菌出現防止のため総使用回数 2 回以内とする。
	3	トリフミン水和剤	3, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	5 回以内	●		●	●			
	10 1	ゲッター水和剤	1, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	5 回以内	●	●				●	※チオファネートメチルを含む（トップジンM、ゲッター）総使用回数 は 6 回以内（種子への処理は 1 回以内、は種後は 5 回以内）
	7	アフエットフロアブル	2, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	3 回以内	●	●	●	●		●	
	9	フルピカフロアブル	2, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	4 回以内		●					
	11	アミスター20フロアブル	2, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	4 回以内	●	●					※浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合がある。 ※【ストロビルリン系】耐性菌出現防止のため総使用回数は 2 回以内とする。
27 11	ホライズンドライフフロアブル	2, 500倍	150～300 ℓ	前日まで	3 回以内	●				●			
12	セイビアーフロアブル20	1, 000倍	100～300 ℓ	前日まで	3 回以内		●					●登録：斑点病	

くん煙法

薬 剤 名	RAC	燃焼法	対 象 病 害 虫	使用量の目安	使用時期	使用回数
ロブラールくん煙剤 [㊞]	2	自燃式	灰色かび病・菌核病	300 ～ 400㎡当たり 100 g	前日まで	3回以内